

2017年3月期第1四半期決算の概要 (2016年4月～6月)

2016年8月5日
東レ株式会社

目次

I. 2017年3月期第1四半期決算の概要

2017年3月期第1四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析	(P17)
主要子会社収益状況	(P18)

II. 2017年3月期連結業績見通し

2017年3月期連結業績見通し	(P20)
セグメント別連結業績見通し	(P21)

I . 2017年3月期第1四半期決算の概要 (2016年4月～6月)

2017年3月期第1四半期連結損益概要

単位：億円

	16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減
売上高	4,969	4,781	-187 (-3.8%)
売上原価	3,895	3,685	-210 (-5.4%)
売上総利益	1,074	1,096	+23 (+2.1%)
(売上高総利益率)	21.6%	22.9%	+1.3 ポイント
販売費及び 一般管理費	703	686	-17 (-2.4%)
(売上高販管費比率)	14.2%	14.4%	+0.2 ポイント
営業利益	370	410	+40 (+10.7%)
(売上高営業利益率)	7.5%	8.6%	+1.1 ポイント
営業外収支	15	8	-7
経常利益	386	418	+32 (+8.4%)
特別損益	▲ 4	▲ 2	+1
税前利益	382	416	+34 (+8.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	262	297	+35 (+13.4%)

為替レート
<円/US\$>

(16/3 1Q) → (17/3 1Q)
 期中平均 : 121.4 → 108.1
 期末 : 122.5 → 102.9

<円/ユーロ>

(16/3 1Q) → (17/3 1Q)
 期中平均 : 134.2 → 122.0
 期末 : 137.2 → 114.4

営業外収支

億円

	16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減
営業外収益	52	63	+11
受取利息及び配当金	21	20	-1
持分法による投資利益	16	22	+6
雑収入	16	22	+6
営業外費用	▲ 37	▲ 55	-18
支払利息	▲ 15	▲ 12	+4
雑損失	▲ 22	▲ 44	-22
営業外収支	15	8	-7
金融収支	5	8	+3

(注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減
特別利益	5	8	+3
有形固定資産売却益	1	8	+7
投資有価証券売却益	3	-	-3
その他	1	-	-1
特別損失	▲ 9	▲ 10	-2
有形固定資産処分損	▲ 9	▲ 8	+1
投資有価証券売却損	-	▲ 2	-2
その他	▲ 0	-	+0
ネット特別損益	▲ 4	▲ 2	+1

(注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産

億円

	16年3月末	16年6月末	増減
資産合計	22,784	21,900	-884
流動資産	10,096	9,944	-151
有形固定資産	8,306	7,833	-473
無形固定資産	872	807	-64
投資その他	3,511	3,315	-196
	16年3月末	16年6月末	増減
負債合計	12,535	12,245	-290
流動負債	5,713	5,699	-14
固定負債	6,821	6,546	-275
純資産合計	10,249	9,654	-595
自己資本	9,456	8,896	-560
自己資本比率	41.5%	40.6%	-0.9 ポイント
有利子負債残高	7,043	7,035	-7
D/Eレシオ	0.74	0.79	+0.05

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	特記事項
設備投資額	218	254	+36	東レ: 35、連結子会社: 220
減価償却費 ー)	222	206	-16	東レ: 67、連結子会社: 139
振替・除却等	31	▲ 522	-553	
有形固定資産増減	27	▲ 473	-500	
研究開発費	142	142	+0	

主な設備投資:

Toray Carbon Fibers America, Inc.: 炭素繊維“トレカ®”プリプレグー貫設備

Toray Battery Separator Film Korea Limited: ポリエチレンフィルム設備

Toray Advanced Materials Korea Inc.: ポリフェニレンサルファイド(PPS)樹脂設備

セグメント別売上高・営業利益

単位：億円

	売上高			営業利益		
	16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減
繊維	2,080	1,977	-103 (-4.9%)	170	178	+7 (+4.3%)
プラスチック・ケミカル	1,237	1,199	-38 (-3.1%)	76	85	+9 (+12.2%)
情報通信材料・機器	635	658	+23 (+3.6%)	58	84	+26 (+45.0%)
炭素繊維複合材料	493	438	-55 (-11.2%)	109	98	-11 (-10.5%)
環境・エンジニアリング	371	358	-12 (-3.4%)	▲ 0	12	+12 (-)
ライフサイエンス	119	119	-1 (-0.6%)	▲ 2	2	+4 (-)
その他	34	32	-1 (-4.2%)	1	▲ 1	-2 (-)
計	4,969	4,781	-187 (-3.8%)	412	457	+45 (+11.0%)
調整額				▲ 42	▲ 47	-6
連結	4,969	4,781	-187 (-3.8%)	370	410	+40 (+10.7%)

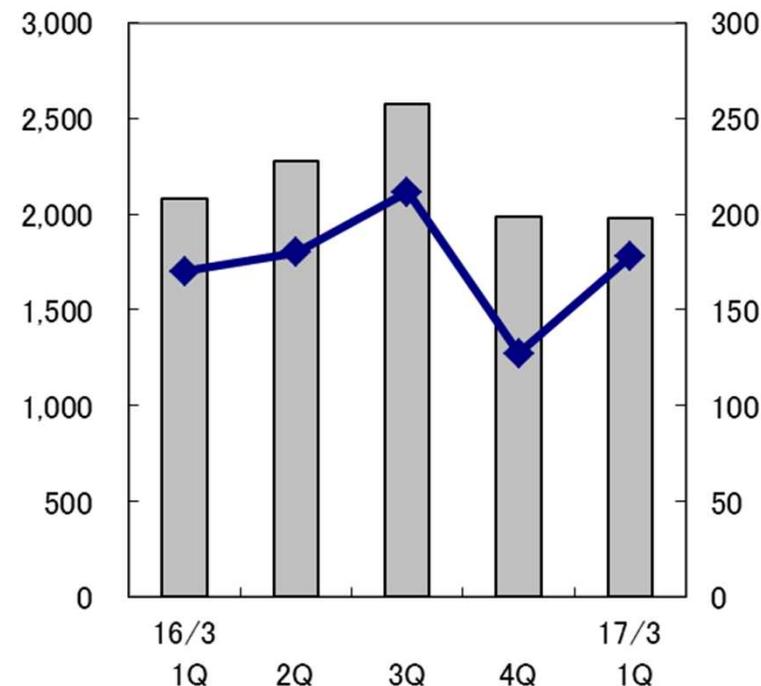
セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	480	450	-30	(-6.3%)
	国内	941	929	-12	(-1.3%)
	海外	1,383	1,250	-134	(-9.7%)
	修正	▲ 725	▲ 652	+74	
	計	2,080	1,977	-103	(-4.9%)
営業利益	東レ	47	57	+10	(+20.2%)
	国内	19	16	-3	(-15.7%)
	海外	120	117	-3	(-2.9%)
	修正	▲ 16	▲ 12	+4	
	計	170	178	+7	(+4.3%)

売上高
〈棒グラフ〉

営業利益
〈線グラフ〉
(億円)



国内: 衣料用途は需要が総じて低調で、産業用途も自動車関連用途向け需要が伸び悩む中で、全般的に拡販に努めるとともに、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化や原価改善を進めることで採算の改善に注力。

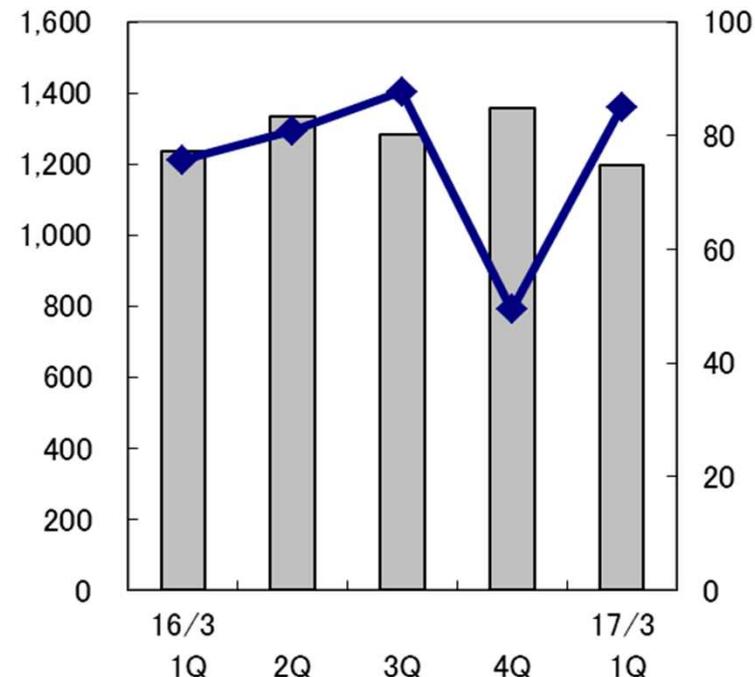
海外: 衣料用途を中心に、欧州や中国などにおける需要低迷の影響を受けた。一方、自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。

セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	322	289	-33	(-10.4%)
	国内	897	898	+1	(+0.1%)
	海外	942	822	-121	(-12.8%)
	修正	▲ 925	▲ 810	+115	
	計	1,237	1,199	-38	(-3.1%)
営業利益	東レ	15	15	-1	(-3.8%)
	国内	19	19	+0	(+0.3%)
	海外	42	52	+9	(+22.2%)
	修正	▲ 1	▲ 0	+0	
	計	76	85	+9	(+12.2%)

売上高
＜棒グラフ＞



営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

- 樹脂:** 日本や米国での自動車生産台数増加を背景に、国内外で関連用途向けの出荷が概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂やポリフェニレンサルファイド(PPS)樹脂などの拡販を推進。
- フィルム:** 高機能品を中心に包装用途向けが堅調。また、国内外で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。
- ケミカル:** 一部のケミカル製品は、円高や市況悪化の影響から販売価格が下落。

セグメント別業績(情報通信材料・機器)

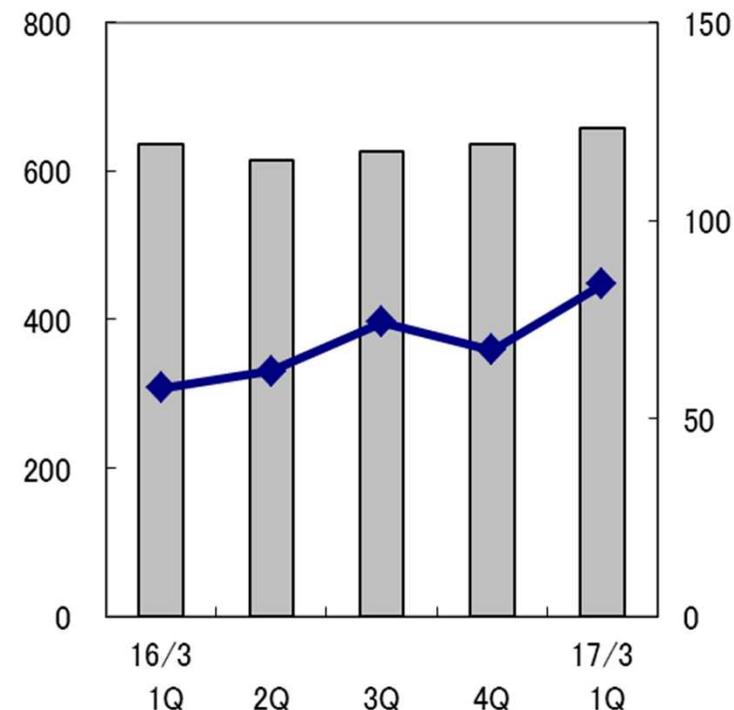
単位: 億円

売上高
〈棒グラフ〉

営業利益
〈線グラフ〉

(億円)

		16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	209	215	+6	(+2.8%)
	国内	237	304	+67	(+28.1%)
	海外	286	239	-46	(-16.3%)
	修正	▲ 97	▲ 100	-3	
	計	635	658	+23	(+3.6%)
営業利益	東レ	8	21	+14	(+181.6%)
	国内	17	32	+15	(+89.4%)
	海外	41	37	-4	(-10.4%)
	修正	▲ 8	▲ 6	+2	
	計	58	84	+26	(+45.0%)



フラットパネルディスプレイ向けでは、スマートフォンやタブレット端末の関連材料は、有機EL用途向けの出荷が拡大するなど、堅調に推移したが、大型パネル関連材料は、テレビ需要の伸び悩みなどから一部製品が低調。リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムは、需要の伸長を背景に、出荷が拡大。また、国内子会社の液晶カラーフィルター製造装置等が堅調。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	16年3月期 第1四半期		17年3月期 第1四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	182	29%	170	26%	-6%
電子部品・半導体・回路材料	331	52%	314	48%	-5%
記録材料	79	12%	64	10%	-19%
機器他	44	7%	111	17%	+152%
合計	635		658		+4%

ディスプレイ材料：有機EL関連材料の出荷が拡大したが、フィルム・フィルム加工品は、テレビ需要伸び悩みの影響を受けたほか、価格競争が継続。

電子部品・半導体・回路材料：電子部品用フィルム・フィルム加工品は堅調に推移したものの、回路材料の出荷が減少。

記録材料：データストレージ用磁気テープ向けフィルムは堅調に推移したが、その他記録材料は全般的に低調に推移。

機器他：液晶カラーフィルター製造装置及びその他IT関連機器の販売が増加。

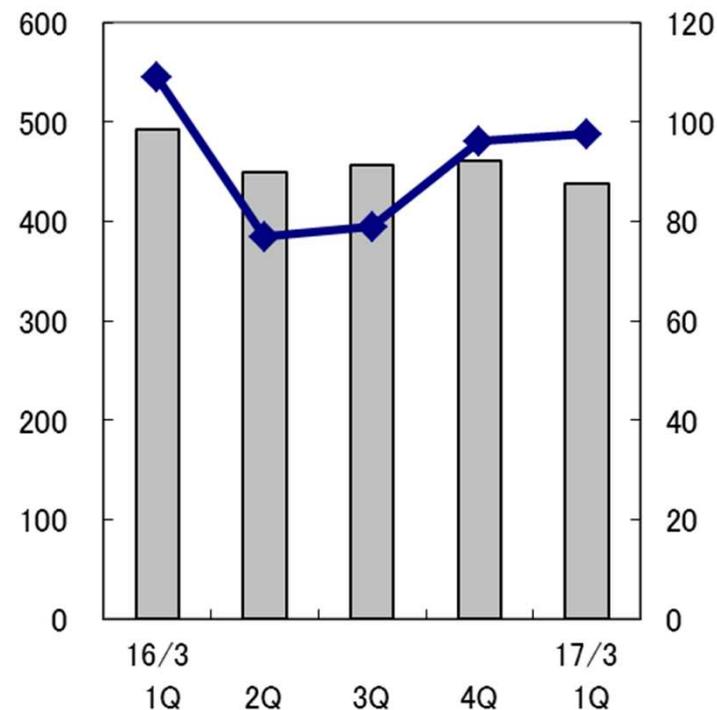
セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

		16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	270	273	+2	(+0.8%)
	国内	199	191	-9	(-4.5%)
	海外	441	374	-67	(-15.1%)
	修正	▲ 417	▲ 399	+18	
	計	493	438	-55	(-11.2%)
営業利益	東レ	61	42	-19	(-30.7%)
	国内	3	3	+1	(+21.7%)
	海外	50	53	+3	(+6.2%)
	修正	▲ 4	▲ 1	+4	
	計	109	98	-11	(-10.5%)

売上高
〈棒グラフ〉

営業利益
〈線グラフ〉
(億円)



航空機の最終需要は堅調に推移したが、サプライチェーンにおける在庫の動きなどを反映して、炭素繊維中間加工品(プリプレグ)の需要は弱含みで推移。圧縮天然ガスタンク向けでは、原油価格下落の影響を受けて、需要が低調に推移。一方、風車用途は、旺盛な需要を背景に、順調に出荷を拡大。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高比率】

単位：億円

	16年3月期 第1四半期		17年3月期 第1四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	255	52%	206	47%	-19%
スポーツ	44	9%	34	8%	-22%
一般産業	194	39%	197	45%	+2%
合計	493		438		-11%

航空宇宙用途：航空機の最終需要は堅調に推移したが、サプライチェーンにおける在庫の動きなどを反映して、炭素繊維中間加工品（プリプレグ）の需要は弱含みで推移。

スポーツ用途：国内は、秋モデルの生産需要を取り込み堅調に推移したが、海外は、釣竿用途の減速、自転車用途の在庫調整によって出荷が減少。

一般産業用途：風車用途等が堅調に推移。

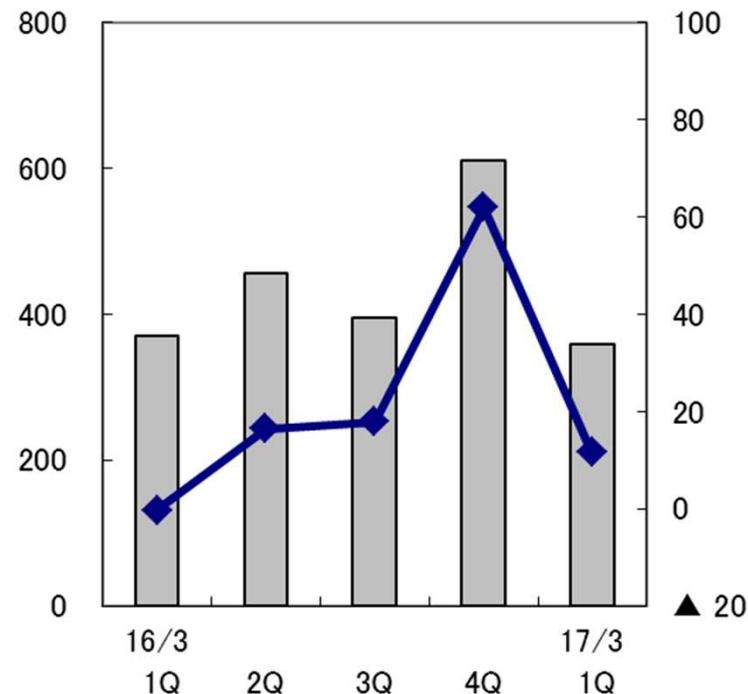
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

単位: 億円

		16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	46	43	-3	(-6.3%)
	国内	389	425	+35	(+9.1%)
	海外	73	66	-7	(-9.0%)
	修正	▲ 137	▲ 176	-38	
	計	371	358	-12	(-3.4%)
営業利益	東レ	1	▲ 3	-4	(-)
	国内	▲ 10	6	+16	(-)
	海外	10	9	-1	(-6.4%)
	修正	▲ 1	▲ 0	+1	
	計	▲ 0	12	+12	(-)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



水処理事業 : 逆浸透膜などの日本からの輸出が海外景気減速や円高進行の影響を受けた。海外子会社の業績は概ね堅調に推移。

国内 : エンジニアリング子会社の産業機器や建設子会社のマンション販売・宅地造成が堅調に推移。一方、海外景気減速の影響から一部商社の取扱高が減少。

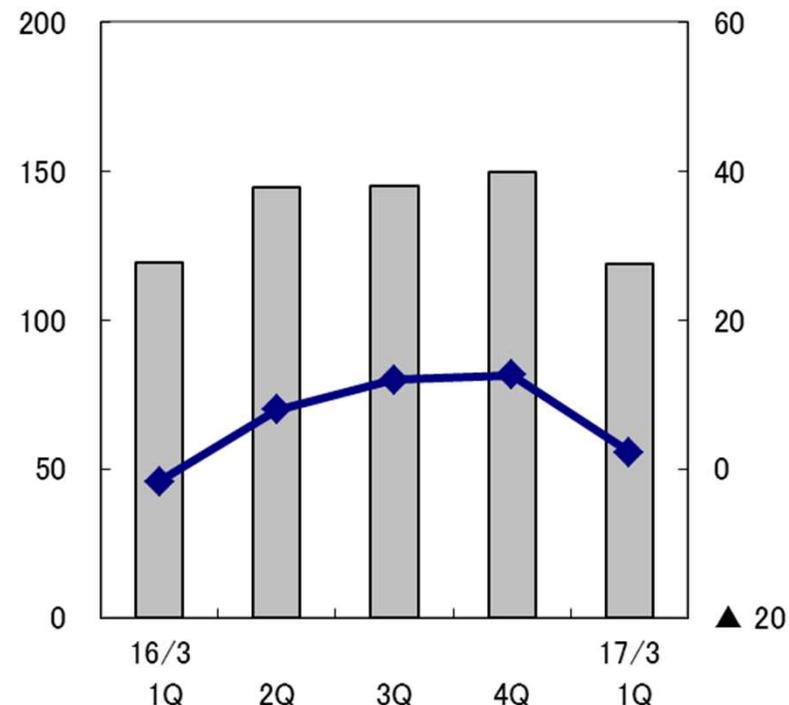
セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

		16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	73	69	-4	(-5.9%)
	国内	93	96	+4	(+4.0%)
	海外	35	33	-2	(-5.5%)
	修正	▲ 81	▲ 79	+2	
	計	119	119	-1	(-0.6%)
営業利益	東レ	▲ 6	▲ 5	+1	(-)
	国内	1	▲ 3	-4	(-)
	海外	1	1	-0	(-2.0%)
	修正	2	9	+7	
	計	▲ 2	2	+4	(-)

売上高
＜棒グラフ＞

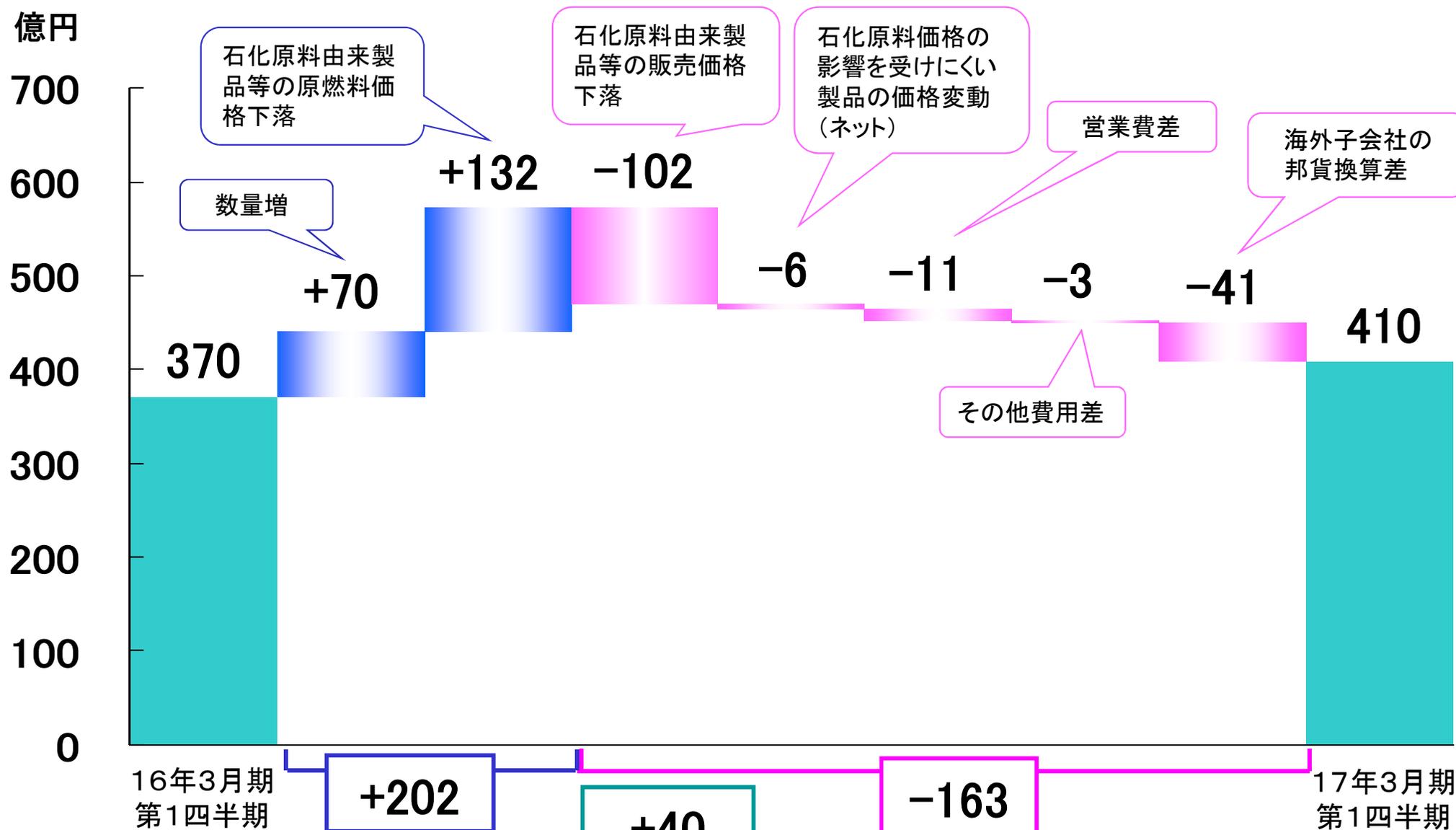
営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ[®]* が、2015年に取得した国内における慢性肝疾患向け効能追加承認を背景に、販売数量を伸ばした。一方、天然型インターフェロンβ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けたことなどにより低調に推移。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移。

* レミッチ[®]は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況

億円

	売上高			営業利益		
	16年3月期 1Q実績	17年3月期 1Q実績	増減	16年3月期 1Q実績	17年3月期 1Q実績	増減
東レインターナショナル	1,330	1,283	-47	23	19	-5
東レエンジニアリング	137	228	+91	▲6	15	+21
東レ建設	64	84	+20	▲3	5	+8
東レフィルム加工	104	101	-3	3	4	+1
東レ・メディカル	93	96	+4	1	▲3	-4
TAK(韓国)	300	263	-37	29	32	+4
TPM(マレーシア)	183	147	-36	10	10	-0
在東南アジア・子会社 *1						
繊維	341	292	-50	24	21	-3
プラスチック・ケミカル	219	181	-38	13	15	+2
その他	25	21	-4	1	2	+1
計	585	493	-92	39	39	+0
在中国・子会社 *2						
繊維	666	612	-55	66	62	-4
プラスチック・ケミカル	201	186	-15	8	10	+3
その他	69	76	+7	4	7	+3
計	936	874	-62	77	79	+2
在外・フィルム子会社 *3						
プラスチック・ケミカル	275	242	-33	17	22	+5
情報通信材料・機器	157	138	-20	19	17	-3
計	432	380	-53	37	39	+2

* 1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM、TCTI

* 2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、TIHK、THK-G、TPCH-G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC、TFN

* 3: TAK、TCK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK、TFN

* 上記アルファベットは各社の略称、金額は単純合計

Ⅱ. 2017年3月期連結業績見通し

2017年3月期連結業績見通し

億円

		16年3月期 実績	17年3月期 見通し	対前年同期比 増減		期初見通し	期初見通し との差異
売上高	上期	10,286	10,100	-186	(-1.8%)	10,800	-700
	下期	10,759	11,500	+741	(+6.9%)	11,500	-
	通期	21,044	21,600	+556	(+2.6%)	22,300	-700
営業利益	上期	751	780	+29	(+3.8%)	780	-
	下期	794	920	+126	(+15.9%)	920	-
	通期	1,545	1,700	+155	(+10.0%)	1,700	-
経常利益	上期	755	780	+25	(+3.3%)	780	-
	下期	747	920	+173	(+23.2%)	920	-
	通期	1,502	1,700	+198	(+13.2%)	1,700	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	494	500	+6	(+1.1%)	500	-
	下期	407	550	+143	(+35.2%)	550	-
	通期	901	1,050	+149	(+16.5%)	1,050	-
1株当たり 当期純利益	上期	30.93円	31.27円				
	下期	25.45円	34.39円				
	通期	56.38円	65.66円				
1株当たり 配当金	上期	6.00円	7.00円				
	下期	7.00円	7.00円				
	通期	13.00円	14.00円				

備考：為替レート的前提は、105円/US\$（7月以降）

セグメント別連結業績見通し

億円

		16年3月期 実績			17年3月期 見通し			対前年同期比 増減			期初見通し との差異		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	4,358	4,562	8,920	4,200	4,600	8,800	-158	+38	-120	-300	-	-300
	プラスチック・ケミカル	2,572	2,640	5,212	2,450	2,700	5,150	-122	+60	-62	-250	-	-250
	情報通信材料・機器	1,250	1,261	2,511	1,300	1,450	2,750	+50	+189	+239	-50	-	-50
	炭素繊維複合材料	943	919	1,862	900	1,000	1,900	-43	+81	+38	-100	-	-100
	環境・エンジニアリング	826	1,007	1,833	900	1,300	2,200	+74	+293	+367	-	-	-
	ライフサイエンス	264	295	558	270	370	640	+6	+75	+82	-	-	-
	その他	72	75	147	80	80	160	+8	+5	+13	-	-	-
	連結	10,286	10,759	21,044	10,100	11,500	21,600	-186	+741	+556	-700	-	-700
営業利益	繊維	350	339	689	350	360	710	-0	+21	+21	-	-	-
	プラスチック・ケミカル	157	137	294	170	170	340	+13	+33	+46	-	-	-
	情報通信材料・機器	120	142	262	140	170	310	+20	+28	+49	-	-	-
	炭素繊維複合材料	186	175	361	190	190	380	+4	+15	+19	-	-	-
	環境・エンジニアリング	16	80	96	30	90	120	+14	+10	+24	-	-	-
	ライフサイエンス	6	24	31	5	45	50	-1	+21	+19	-	-	-
	その他	5	14	20	5	15	20	-0	+1	+0	-	-	-
		調整額	▲ 89	▲ 118	▲ 207	▲ 110	▲ 120	▲ 230	-21	-2	-23	-	-
	連結	751	794	1,545	780	920	1,700	+29	+126	+155	-	-	-

本資料中の2017年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry